

2026 年度 授業計画(シラバス)

学 科	薬業科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	演習
科 目 名	漢方医学ゼミ		必修/選択の別	選択	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2 年		学期及び曜時間	後期	教室名	第三校舎薬局実習室
担 当 教 員	稲垣 順也	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
各種の漢方処方製剤を更に適切に使い分けられるようになるために、多用される生薬についての発展的学習を行う。						
《成績評価の方法と基準》						
出席点：20 % 授業での取り組み方・課題の提出状況・提出物に対する評価点：10 % 期末課題に対する評価点：70 %						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
配布プリント						
《授業外における学習方法》						
生薬事典を、類似した生薬同士を対比させながら読んでみたり、自分なりにまとめてみたりすると、良い勉強になると思われる。						
《履修に当たっての留意点》						
漢方処方製剤を適切に使い分けられたなら、人生は更に豊かで、快適で、安心なものになると思います。そんな人生の役に立つ勉強を、一緒に楽しく続けていきましょう。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	演習形式	授業を通じての到達目標	自身の証(漢方医学における診断名)を導き出せるようになる。	配布プリント	『東洋医学概論』などで習った「証」という概念についての復習。	
		各コマにおける授業予定	「気血水(津液)」と「陰陽」の病証について			
第2回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、裏実証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「かぜ」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。	
		各コマにおける授業予定	裏実証に用いる生薬とその効能			
第3回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、気滞証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「便秘」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。	
		各コマにおける授業予定	気滞証に用いる生薬とその効能			
第4回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、気逆証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「気滞」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。	
		各コマにおける授業予定	気逆証に用いる生薬とその効能			
第5回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、気虚証と気陥証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「気逆」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。	
		各コマにおける授業予定	気虚証と気陥証に用いる生薬とその効能			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、湿証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「気虚」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	湿証に用いる生薬とその効能		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、飲証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「血瘀」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	飲証に用いる生薬とその効能		
第8回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、痰証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「血虚」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	痰証に用いる生薬とその効能		
第9回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、血瘀証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「痰」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	血瘀証に用いる生薬とその効能		
第10回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、血虚証と精虚証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「飲(水毒)」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	血虚証と精虚証に用いる生薬とその効能		
第11回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、陽盛(実熱)証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「陰盛(実寒)」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	陽盛(実熱)証に用いる生薬とその効能		
第12回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、陽虚(虚寒)証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「陽虚(虚寒)」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	陽虚(虚寒)証に用いる生薬とその効能		
第13回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、陰盛(実寒)証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「陽盛(実熱)」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	陰盛(実寒)証に用いる生薬とその効能		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	下欄の事項を学ぶことで、陰虚(虚熱)証と津液不足証に適した漢方処方製剤を選択できるようになる。	配布プリント	「陰虚(虚熱)」と「津液不足」に対して使われている漢方処方製剤についての調査。
		各コマにおける授業予定	陰虚(虚熱)証と津液不足証に用いる生薬とその効能		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業で得た知識を用い、適切な臨床問答を行うことができる。	配布プリント	これまでの総復習
		各コマにおける授業予定	総まとめ		